

城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部

篠山市小枕 城南コミュニティーセンター

TEL : 079-506-0955 FAX : 079-506-0956

ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

まちむら交流

平成27年8月16日

今年も成徳ふれまちの一行約40名の皆さんをデカンショ祭りに招待しました。昨年は城南へ到着後大雨のため残念ながら中止になってしまったため、今年こそは大いに踊りまわろうと張り切って乗り込んでこられました。

一行は午後4時過ぎ真南条営農組合へ到着、育てている黒豆の生育状況を観察した後、城南コミセンで城南まち協のメンバーと合同で腹ごしらえをしました。

午後6時半ごろそろってデカンショ会場へ、幸いお天気は曇りながら雨の心配はなさそうです。7時ごろいよいよ踊りの開始、今年もデカンショのまち・篠山が日本遺産に認定されたこともあり特に盛り上がっているようです。早速われらが交流連も踊りの輪に参加、休憩もせずに2度3度と大ヤグラにのぼって踊りを続けました。気が付けば8時半の花火の時間になっていました。

一行、素晴らしい花火を堪能しいよいよ帰り支度です。会場からバスがとまっている小島医院の駐車場までそろって歩いて帰りました。午後9時過ぎ、来年も一緒にデカンショ踊りに参加できることを期待してバスを見送りました。



囲碁ボール大会実施

平成27年8月1日

まち協体育部主催の囲碁ボール大会がコミセン城南会館2階で開催されました。猛暑のせいか参加チームが4チームと少なく、少し淋しい大会となりましたが、小学生やお母さんを加えたチームや20～30歳代の若者主体のチームもあり、熱戦がくりひろげられました。来年は夏休み中のことでもあり、小中学生も交え多くのチームの参加が望まれます。成績：(優勝) 栗栖野チーム、(準優勝) 真南条上チーム、(第三位) 真南条中チーム



優勝：栗栖野チーム



準優勝：真南条上チーム



第三位：真南条中チーム

元町マルシェで店頭販売平成

平成27年7月25日

7月25日元町マルシェの店頭を借りて直接消費者と触れ合いながら販売することができました。各地から送られた商品がどのように買ってもらえるのか、地元篠山の商品を持ち込み、店員さんにも聞きながら、好まれる商品、加工品や花卉類等、季節に左右されない商品があるのか調査することができました。

このマルシェは、昨年6月、県内各地の農産物や加工品などの特産品を販売し、地域の魅力を発信するアンテナショップとして。神戸市中央区元町通の元町5丁目商店街にて週6日営業の「ひょうごの元気ムラ～元町マルシェ～」として周辺に3店目としてオープンし、1年が経過し、既に4店目も出店し、西元町に新鮮な農産物が買える新しいスポットとなりつつあります。

毎週木曜日朝9時に(仮称)アグリステーション城南(保育園跡)に集荷に来て貰っています。皆様どうか出荷してください。



まち*むら交流 成徳ふれあいまマルシェ再開 平成平成27年7月21日

今年度第1回目の野菜市が神戸市灘区六甲道南公園で開催されました。

トマト、キュウリ、なすび、かぼちゃ、ピーマンをはじめ色とりどりの新鮮な夏野菜を持って行きましたが、1月を最後に半年ぶりの再開ということで荷物を並べはじめるのを待ちかねてお客様が物色を始めました。特に生鮮野菜は今年で6年目ということでやっと篠山・城南の新鮮な味を覚えてもらい、ファンとなるお客様も付き始めた感じがします。

これから来年の1月まで、毎月第3火曜日に開催されますが、ひとりでも多くの人に出品していただきたいと思います。



神戸市灘区成徳地区との交流事業本年度第2弾「赤ジャガ掘り」が晴天の中、開催されました。今回は成徳から72名（うち子供32名）の参加があり、加えて城南児童クラブの児童8名も参加し大変にぎやかな催しになりました。

9時過ぎ大型バスやマイカーで真南条上営農組合へ到着。着替えもそこそこに真南条上の赤ジャガ畑へ。先ず、係のおじさんが機械で荒堀をするとそこには大小の赤ジャガがゴロゴロと現れます。そこで子供も大人も一斉に拾い集めます。その下の方にもまだいもが埋まっております。スコップ、シャベルや手で丹念に掘っていきます。1時間ほどの作業で軽トラいっぱいになりました。

楽しみの第2弾は、食事会です。早朝から地元のお母さん方に成徳の方にも応援していただきながらおいしい料理を作っていただきました。主なメニューは、赤ジャガカレー、地元野菜を使ったサラダ、てんぷら、キュウリやナスの漬物などです。食事パート2はいつも好評のソーメン流しです。前日雨の中をまち協スタッフと営農組合の人が太い竹を切り、ソーメン流しの樋や薬味入れなどを準備したものです。よく冷えたソーメンが勢いよく竹の上を走ります。子供たちは歓声を上げながら素早く掬い取り口に入れます。さらに、ミニトマトやゼリー、ぶどうなども流れてきて大いに盛り上がりました。

午後の最後のイベントは、昨年に引き続き木工細工です。地元の先生2人が用意していただいた木切れなどを利用し、ボンドで家や街並みなどを制作していく作業ですが、いつもながら子供たちの創造力の豊かさには驚かされます。全部の作品を台の上に並べ（写真参照）、優秀作品を表彰しました。午後3時ごろお別れの時間になり、赤ジャガのお土産を手にとり帰途に就かれました。翌日、成徳の方からお礼のメールが届き、子どもたちが大変興奮していた様子が記されていました。最後にお世話いただいたまち協や営農組合のスタッフの皆さん大変ご苦労様でした。

